

教 科	国 語	単 位 数	2 単 位	学科・学年・コース	普通科・3年 普通・ITコース
使用教科書	『国語必携 ライトパーフェクト演習』三訂版 尚文出版				

1. 学習の到達目標

① 日本語の知識を広め、語彙を増やしコミュニケーション能力の向上を図る。 ② 文章を書くための基礎的な知識を定着させ、自己表現力を育成する。 ③ 古典の作品についておおよその知識を広める。(教養や常識としての古典文学の理解) ④ ことばや表現に関する興味、知識、教養の涵養を図る。

2 学習方法 (授業の進め方)

- ①最初の授業で授業の進め方、学習方法、評価方法等について説明する。
- ②学習計画にそって『国語必携 ライトパーフェクト演習』を使用して演習を行い、小テスト等を通して学習内容の定着を図る。
- ③図書館を利用した調べ学習を取り入れ、辞書及び便覧活用の定着を図る。

3 提出課題等について

- ①『国語必携 ライトパーフェクト演習』を主な提出物とし、授業への取り組み状況等を確認する。
- ②その他、授業や家庭学習で使用したノート・ファイル等。

4. 評価基準・評価方法

下表の4つの観点を踏まえ、提出物、定期考査、小テスト、その他課題等を総合的に評価する。

関心・意欲・態度	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	知識・理解
国語や言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図り、進んで表現したり理解したりするとともに、伝え合おうとしているか。	自分の考えをまとめたり深めたりして、目的や場面に応じ、筋道を立てて話したり的確に聞き取ったりしているか。	自分の考えをまとめたり深めたりして、相手や目的に応じて、筋道を立てて適切に文章を書いているか。	自分の考えを深めたり発展させたりしながら、目的に応じて様々な文章を的確に読み取ったり読書に親しんだりしているか。	表現と理解に役立てるための音声、文法表記、語句、語彙、漢字等を理解し、知識を身に付けているか。

5. 学習の計画

※『国語必携 ライトパーフェクト演習』を使用して国語常識（表現を含む）の演習・整理・確認を行う。

※「基礎編」・「対策編」・「表現編」において国語力の充実と自己表現力の育成をめざす。

学期	月	指導内容・学習目標	評価の観点				配当時間
			意欲・態度	話す・聞く	読む・書く	知識・理解	
一	4	オリエンテーション					1
		語彙力を育成する。(基礎編①演習1~8回) 基本的な漢字、慣用表現、語彙力をつける。	○	○	○	○	7

学 期	5	語彙力を育成する。〈基礎編①演習9回～10回、整理1・2チェックページ〉 日本文学史、ことわざ、慣用表現、語彙力をつける。	○		○	○	7
	6	文章表現力を育成する。〈表現編演習1～3回〉 原稿用紙の使い方を習得する。 意見文の書き方を学ぶ。 語彙力・読解力を育成する。〈基礎編②演習第1回～7回〉 慣用表現・慣用読み・四字熟語・文章題（小説、評論）の読解	○ 1 1		○ 1 1	○ 1 1	8
	7	【一学期期末テスト】					
		語彙力・読解力を育成する。〈基礎編②8回～10回、整理1・2、チェックページ〉 漢字・四字熟語・慣用表現・国語常識・表現・カタカナ語	○		○	○	8
二 学 期	9	語彙力を育成する。〈基礎編③1回～10回 整理1・2、チェックページ〉 公務員試験レベルの語彙力を育成する〈対策編演習1～6回〉 漢字・敬語・ことわざ・慣用句・四字熟語。 新聞記事から時事用語を習得する。 文章表現力を育成する。〈表現編5回〉 履歴書を作成する。	○ 1		○ 1	○ 1	8
	10	文章表現力を育成する。〈表現編 演習4回〉 口語文法（品詞、副詞、接続詞） 敬語の基礎知識（尊敬語・謙譲語・丁寧語）の理解。	○ 1		○ 1	○ 1	9
	11	語彙力を育成する。〈基礎編③6回～10回〉 漢字の読み書き・同字異訓・類字漢字・難読語の読み。 古典常識の概括的な知識を習得させる。 新聞記事から時事用語を習得する。	1 ○ 1		1 ○ 1	○ 1 1	8
	12	【二学期期末考査】 表現力を育成する。〈表現編1～6回〉 メモの作成の仕方、手紙文の慣用句例、校正、封筒の書き方の知識を深め、手紙を書く。 面接試験の対策をする。	○	1	○	○	8
三 学 期	1	語彙力を育成する。〈総復習〉 漢字・故事成語・四字熟語・ことわざ・慣用表現・カタカナ語	○		○	○	3
	2	【学年末テスト】 総復習をする。〈総復習〉 漢字力、語彙力、表現力を総復習する。	○	○	○	○	3